2025版　参加チームへの注意事項（一般）

◆競技運営に関する注意事項◆（競技者必携 P29-P33）

1. 大会要項及び本注意事項に記載されてある事項は、必ずチーム全員に徹底すること。
2. ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。ただし、1チームが2試合続けて行う場合はベンチの入れ替えは行わない。
3. ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ 29 番・28 番を含む選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。
4. チームは試合開始の予定時刻の 60 分前までに球場に到着し、大会本部から打順表を受け取ること。
5. 打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は、前の試合の4回終了時（7回戦の場合）または、5回終了時（9回戦の場合）に監督または主将が大会本部に6部提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。
6. シートノックは、原則として行わない。
7. 球場内ではトスバッティングのみ認める。
8. 次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後、競技場内のブルペンを使用することができる。
9. 打者が頭部にヒット・バイ・ピッチを受けたときには、選手の安全確保を第一に、その程度を問わず臨時代走の処置を行う。
10. ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用を禁止するが、電子スコア記録用としての1台の使用を認める。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
11. 第2試合以降は、試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分を目安に次の試合を開始する。
12. 試合開始予定時刻になっても会場に到着していないチームは、原則として棄権とみなす。
13. 雨天でも試合を行うことがあるので、必ず大会本部の指示を受けること。
14. 次のイニングに引き続き投げる投手は、ベンチ正面でのキャッチボールを禁止するが、ベンチ外野側角からポール方向のファウルテリトリでの軽いキャッチボールを認める。
    また、ブルペンでのキャッチボールは2組4名以内を認める。

◆競技に関する連盟特別規則◆（競技者必携 P33-P36）

1. 正式試合　暗黒や降雨などでイニングが進まなくとも 5 回終了（7 回戦の場合）または 7 回を終了（9 回戦の場合）すれば試合は成立する。
2. 抗議権を有する者は、監督か当該プレーヤーのうちいずれか1名とする。

◆試合中の禁止事項◆（競技者必携 P52-P53）

1. 選手や審判員に対する全てのヤジを禁止する。（競技者必携 P.7【ヤジ撲滅運動展開中】）
2. 競技場内（ベンチを含む）では、喫煙およびガム等を噛むことを禁止する。
3. 危険防止のため、足を高く上げてのスライディング等を禁止する。
4. 作為的な空タッグを禁止する。
5. プレーヤーが塁上で腰を下ろすことは禁止する。

6. 試合が開始されたら、控え選手は、むやみにベンチから出てはならない。投手の準備投球にあわせて素振りをすることを禁止する。

ただし、次のことを認める。

①攻守交代時にファウルグラウンドで外野方向へランニングをすること。

②攻守交代時に自チームの練習をベンチ前で見守ること。ただし、球審の「プレイ」の宣告までにはベンチに戻ること。

③攻守交代時に外野手とキャッチボールをすること。

7. 次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。

◆試合のスピード化に関する事項◆（競技者必携 P54-P56）

1. 試合のスピード化・マナーに関する確認事項（競技者必携 P11-P12）を遵守し、試合のスピードアップを全員が励行すること。
2. 攻守交代時、最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ること。
3. 投手の 12 秒及び 20 秒ルールを適用する。（競技者必携 P5-P6）
4. 打者についてはバッターボックスルールを適用する。

◆競技者のマナーに関する事項◆（競技者必携 P57）

1. 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しないこと。
2. 「マナーを守った節度ある応援について」（競技者必携 P8）を遵守すること。

◆用具・装具に関する事項◆（競技者必携 P58-P60）

1. ユニフォーム、帽子は全員同色、同形、同意匠のものでなければならない。アンダーシャツ、ストッキングは全員同色のものでなければならない。なお、ユニフォームの上着はきちんとズボンに入れること。
2. 左袖に日本字またはローマ字による都道府県名を必ずつけなければならない。
3. 試合に出場する捕手及びブルペン捕手は、安全のためプロテクター、レガース、マスク（スロートガード付）、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず着用すること。なお、攻守交代時等に伴い捕手が用具着用中に、控えの選手等が準備投球を捕球する際は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球すること（出場中の内野手可）。
4. 捕手用マスクは SG 基準合格品を着用すること。

◆その他◆

1. ロージンバックは、投手板後方の打者の視野に入らない位置に置き、手に持たず指に触れる程度で使用すること。
2. 試合中のグラウンド内のファールボールは、チームで回収してボールパーソンに渡すこと。
3. 試合が終了したチームは、次の試合のグラウンド整備に協力すること。
4. 記載のない事項は、2025 競技者必携に準ずる。